

大迫力な演奏に会場大盛り上がり！

埼玉地本（本部長 山本方之1空佐）は1月25日（土）、越谷サンシティホールにおいて東部方面音楽隊による「ニューイヤークンサート」を支援した。これは防衛協会青年部会主催で毎年この時期に実施される演奏会で、市の後援や地元の協力団体等（今年には越谷ロータリークラブ、自衛隊父兄会越谷支部との共催で実施）の協力を得て実施しているイベントであり、音楽とのふれあいを通じて県民に自衛隊に対する理解を深めてもらう目的で行われているものである。



当日は五〇〇名の学校招待者（市民及び近郊の小中高生）を始め、約一六〇〇名の入場者があり、開場前から入場待ちの行列ができる程であった。

演奏会は14時に開演、第一部は行進曲「絆」で始まり、東京オリンピック・ファンファーレ&マーチへと続いた。圧巻の演奏を目の当たりにした来場者は徐々にヒートアップ！

第二部に入ると、ラテンパーカッションを多用した軽快なリズムでステップを披露！さらに昨年大ヒットしたNHK連続テレビ小説「あまちゃん」よりオープニングテーマと挿入歌の演奏が流れると会場は大興奮！リズムに乗って首を縦に振り手拍子をするなど、会場が一体となって演奏に聞き入っていた。



プログラム予定終了後も会場は拍手が鳴り止まず会場からはアンコールのリクエスト。音楽隊長田村3陸佐は「美中の美」で来場者の声援に答えていた。

演奏を聴いた方からは「すごくよかったです。」や「来年もまた来たいです。」という声がたくさん聞かれ、演奏会は大成功であったと確信した。またある高校生からは「迫力ある演奏に感動しました。私も吹奏楽部でトランペットを吹いているのですが、音楽隊のレベルの高さ、パフォーマンズに目を奪われました。将来は入隊して音楽隊に行きたいと思います。」と、息を弾ませ将来の目標を話していた。

埼玉地本は、今後も地域の声と要望に耳を傾け、様々な広報イベントを企画、支援して行く所存である。

